

別 紙

第62回 静岡県公衆衛生研究会 優秀演題ホームページ掲載要旨

分 科 会 名	第 1 分科会	演題番号	116
題 名	野菜摂取量推定装置を活用した出前健康教室の効果と今後の事業展開～働く世代の野菜摂取向上に向けて～		
所 属	袋井市 健康長寿課・健康未来課 静岡県立大学 公衆栄養学研究室		
氏 名	○鈴木萌夏 中村日奈乃 加藤亜澄 串田 修		
要 旨 (簡 潔 に)	<p>袋井市では市内事業所と連携し、働く世代の健康づくりを目的とした事業所出前健康教室を開催し、野菜摂取量推定装置（以下ベジチェック®）を用いた測定や栄養士による健康教育を実施している。本研究の目的は、事業所出前健康教室におけるベジチェック®測定のアンケート結果から事業の評価を行い、今後の効果的な事業展開について検討をすることである。ベジチェック®測定を通じて参加者は自らの野菜摂取量の不足を認識する機会「自己の再評価」を得たと考えられ、意識の改善には寄与したものと推察される。今後、ベジチェック®測定に基づく介入が意識の改善を促進する一方で、次のステージへの変容を促すためには、「準備期」から「実行期」への移行を支援する取り組みが必要であることが示唆された。このため、事業所主体の健康づくりを支援する仕組みづくりや指導方法を検討していく必要がある。</p>		